

名古屋 COI 拠点成果発表

グローバルモビリティ拠点サミット 2015

8/28 Fri

TOC 有明コンベンションホール 4 階

名古屋 COI 拠点では、「高齢者が元気になるモビリティ社会」の実現に向けて 10 年後を見通した研究開発を、産業界・大学・行政と連携して推進しています。本拠点の取組と研究成果、また、海外のモビリティ研究拠点の先進的な取組を紹介し、パネルディスカッションでは、「高齢者社会 × 自動運転」について産学官連携の研究成果を着実に社会実装するためのシナリオや、グローバル連携が担うべき役割について議論を行います。

参加費無料 定員 200 名

申込方法 ウェブサイトからお申込みください

<http://www.coi.nagoya-u.ac.jp/>



TOC 有明 (東京都江東区有明 3-5-7)
りんかい線 国際展示場 3 分
ゆりかもめ 有明・国際展示場正門 4 分

名古屋 COI 拠点成果発表会

10:30 ~ 12:05

開会挨拶 江崎 研司 (トヨタ自動車)

研究成果の概要紹介

二宮 芳樹 (名古屋大学)

金森 等 (名古屋大学)

武田 一哉 (名古屋大学)

新井 史人 (名古屋大学)

12:05 ~ 13:30

ポスターセッション・展示

12:15 ~ 13:10

実験車両自動走行デモ

「ドライバー体調不良検出による自動退避走行」
TOC 有明駐車場 7 階

ドライバーの体調不良を検出し、周囲の交通情報を認識しながら安全に停止する自動走行デモを行ないます。



グローバルモビリティ拠点サミット 2015 (日英同時通訳)

13:30 ~ 15:25

海外モビリティ研究拠点の紹介

Pieter Noordzij (ハイテックオートモーティブキャンパス, オランダ)

Angkee Sripakagorn (チュラロンコン大学, タイ)

Huei Peng (ミシガン大学, アメリカ)

※Mark Lawford 氏 (マクマスター大学) の講演は諸事情の為中止となりました。

15:45 ~ 17:40

パネルディスカッション「高齢者社会 × 自動運転」

招待講演者 上記 3 名

北崎 智之 (産業技術総合研究所 自動車ヒューマンファクター研究センター長)

井上 秀雄 (トヨタ自動車株式会社 FP 部 先進自動車研究リーダー,
東京農工大学 客員教授)

木村 秀夫 (株式会社 DeNA 執行役員 システム本部長,
ロボットタクシー株式会社 取締役 サービス開発部長)

森川 高行 (名古屋 COI 拠点 モビリティ部門)

志賀 幸弘 (愛知県額田郡幸田町 企画部 企業立地課 企業立地監)

モデレーター: 二宮 芳樹 (名古屋 COI 拠点 モビリティ部門長)

主催 / 問合せ 名古屋大学 未来社会創造機構

電話: 052-788-6055 E-mail: info@coi.nagoya-u.ac.jp

◆ 平成 27 年度 名古屋 COI 拠点成果発表会

持続可能な高齢社会実現のためには、高齢者が年齢格差、地域格差、個人差なく、生き活きと生活し、活動できることが不可欠です。名古屋 COI 拠点では、「高齢者が元気になるモビリティ社会」をビジョンに掲げ、高齢者が【安全に、安心に、楽しく行こう】と思えるクルマ、そのクルマに乗って【町に出よう】となる情報サービス、その町で【元気にいこう】と言える社会参画のしくみの社会実装を目指しています。ビジョン実現の鍵となる研究開発テーマの最新の成果をご紹介します。

10:30 ~ 10:45 開会挨拶・名古屋 COI 拠点の概要紹介

プロジェクトリーダー 江崎 研司（トヨタ自動車株式会社 技術統括部担当部長）

研究成果の概要紹介

10:45 ~ 11:05 【モビリティ部門】 部門長 二宮 芳樹（名古屋大学未来社会創造機構 特任教授）

11:05 ~ 11:25 【モビリティ部門人間・加齢特性グループ】 グループリーダー 金森 等（名古屋大学未来社会創造機構 特任教授）

11:25 ~ 11:45 【情報基盤部門】 部門長 武田 一哉（名古屋大学未来社会創造機構 教授）

11:45 ~ 12:05 【サステナブル基盤部門】 部門長 新井 史人（名古屋大学未来社会創造機構 教授）

12:05 ~ 13:30 ポスターセッション・展示

実験車両自動走行デモ 「ドライバー体調不良検出による自動退避走行」（TOC 有明駐車場 7 階）

12:15 ~ 13:10 本拠点では、ドライバーの体調不良を検知してクルマを安全に停止させる画期的なシステムを開発しています。センサー類を組み込んだ試験車を走行させ、ドライバーの体調不良をステアリングに組み込んだセンサ等で検知し周囲の交通環境を認識しながら安全な場所に停止するデモンストレーションを行います。

◆ グローバルモビリティ拠点サミット 2015 （日英同時通訳）

本サミットでは、海外のモビリティ研究拠点から、各拠点が目指すビジョンや最新の取組をご紹介します。パネルディスカッションでは、「高齢者社会 × 自動運転」について議論を行います。

13:30 ~ 13:40 司会・開会挨拶

森川 高行（名古屋 COI 拠点 モビリティ部門 交通・情報システムグループ 交通マネジメントユニットリーダー）

海外モビリティ研究拠点の紹介

13:40 ~ 14:15 招待講演 (1) Mr. Pieter Noordzij

Business Development Manager, High Tech Automotive Campus, The Netherlands

14:15 ~ 14:50 招待講演 (2) Assoc. Prof. Angkee Sripakagorn, Ph.D.

Director of Smart Mobility Research Center (SMRC), Chulalongkorn University, Thailand

14:50 ~ 15:25 招待講演 (3) Prof. Huei Peng, Ph.D.

Department of Mechanical Engineering, University of Michigan, USA

Associate Director, U-M Mobility Transformation Center

Chair of the MTC Faculty Council Director of U.S.-China Clean Energy Research Center (CERC)

※Mark Lawford 氏（マクマスター大学）の講演は諸事情の為中止となりました。

パネルディスカッション「高齢者社会 × 自動運転」

15:45 ~ 17:30

2007 年に世界で最初に超高齢社会を迎えた日本は、2030 年には 3 人に 1 人が 65 歳以上、5 人に 1 人が 75 歳以上となることが予測されています。高齢者社会において、自動運転が切り拓く未来について展望し、「すべての人がいつでも、いつまでも、行動・活動でき、人との深い絆を基礎に、安心して生きていける社会」を実現するために、世界のモビリティ研究拠点と連携して担う役割について、議論を行います。

招待講演者 上記 3 名

北崎 智之（国立研究開発法人産業技術総合研究所 自動車ヒューマンファクター研究センター長）

井上 秀雄（トヨタ自動車株式会社 FP(Future Project) 部 先進自動車研究リーダー、東京農工大学 客員教授）

木村 秀夫（株式会社 DeNA 執行役員 システム本部長、ロボットタクシー株式会社 取締役 サービス開発部長）

森川 高行（名古屋 COI 拠点 モビリティ部門 交通・情報システムグループ 交通マネジメントユニットリーダー）

志賀 幸弘（愛知県額田郡幸田町 企画部 企業立地課 企業立地監）

モデレーター：二宮 芳樹（名古屋 COI 拠点 モビリティ部門長）

17:30 ~ 17:40 まとめ